

# 謹賀新年

年頭のご挨拶

## 「可能性ある大地」 から「確かな大地」へ

(撮影場所：クラフトビール醸造所)

沼田町長  
よこやま しいる 茂

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、ご家族ともども輝かしい希望に満ちた新年を健やかにお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、日頃から町行政に対して温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、改めて厚くお礼を申し上げます。

昨年は、沼田町の開拓130年の節目の年であり、記念式典を始めとする様々な記念行事を実施させていただきました。これからも先人たちのためまぬ努力によって築き上げられたこの町を、私たちの手でより良い未来へと繋いでいく責務を改めて強く感じている次第でございます。

昨年、我が町に全国初となる公設民営型のクラフトビール醸造所の建設を進め、令和6年11月末に竣工し、令和7年4月からの稼働を目指しているところであります。

また、JR北広島駅の西口で建設が進む複合施設「トナリ工北広島」にて、クラフトビールを始めとした沼田町の特産品を取り扱うブースの発展に向け準備を進めており、沼田町をより多くの方々知ってもらい、更なる関係人口の創出・拡大に努めて

まいります。

本町の基幹産業であります農業については、春は低温・日照不足により生育に遅れが生じましたが、それ以降は概ね高温・多照で経過し、水稲・畑作ともに収量及び品質は良好となっております。農業者並びに関係機関のご努力により豊穡の秋を迎えられた事に胸をなでおろしたところであります。

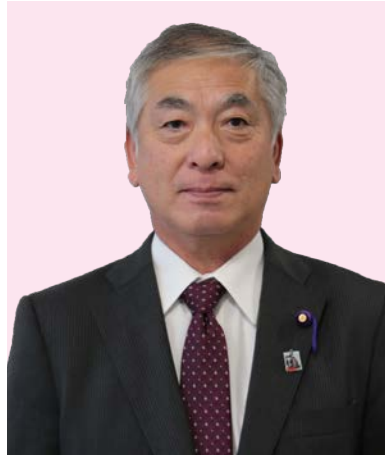
2023年産米の不足による「令和の米騒動」が起こり、米価が大幅に上昇するなど、今後の国の農業施策の予測が困難な状況ではありますが、本町農業の持続的発展、新時代の沼田農業スタイルの確立に向け、農業者並びに関係機関・団体と連携し対応に努めてまいります。

本年におきましても、人口減少が及ぼす地域社会・地域経済の衰退が懸念される中で、豊富な地域資源を磨き上げ活かすのは「人材」であり、これまで培った「知識や経験」を「知恵」に変え、常に地域間の「競争」と「共創」を意識し、開拓130年を迎えた今「可能性ある大地」から「確かな大地」を目指してオールぬまたで「共創共働のまちづくり」に取り組んでまいりますので、町民皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆さまにとって健康で、喜びと幸せに満ちた一年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

## 沼田町議会議長

こみね さとる  
小峯 聡



新年明けましておめでとうございます。ご家族皆様のご健勝で輝かしい令和7年の新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、町民の皆様方には日頃より町議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに対し厚くお礼申し上げます。

昨年は元旦に石川県能登半島で大きな地震があり、また9月には豪雨災害が発生し、亡くなられた方にはお悔やみを申し上げ、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。一日も早く元の生活ができますようお祈りいたします。

昨年の農作物の作況は水稻で北海道103、北空知では103で10aの反収が616kgという作況でした。単価についても今までにない高単価となり農家経営的にはよかったですと思いますが、物価への影響や、米

の需要への影響を考えると、手放しでは喜ばない状況です。

昨年は甲辰の年で時代の転換になるような出来事のある年とされています。時代の転換となるかはわかりませんが、10月に衆議院議員選挙が行われ自民党が大敗しました。それをきっかけに少し政治の流れが変わったのではないかと感じます。今年には乙巳で再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年とされています。どのように変化していくのかわかりませんが、皆様にとって昨年までいろいろな面で苦労されたことが良い結果となることを心から願います。

今年も議会では開かれた議会を目指し議会改革を推進していきます。町民とのつながりが弱いと評価していますので、その部分の強化のためにこれからも試行錯誤してまいりますと思っております。

町民皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、今年一年が皆様にとってよりよい年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

## 沼田消防団長

こにし かつのり  
小西 克典



新年明けましておめでとうございます。

令和7年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様には謹んで年頭のご挨拶を申し上げますと共に、平素から消防行政に對しまして、特段のご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

沼田消防団では、今年度の重点目標として「基本技術の再確認」をテーマに、消火活動の初動となるホース展開や、第1、2、3分団の全機関員を対象とした基本操作及び連携訓練、規律・礼式訓練を通して活動の基礎となる部隊行動の再習得など、今一度、初心にかえり消防団活動に取り組んでいるところであります。

さて、昨年の沼田町の火災発生状況は、建物火災1件が発生しましたが、人的被害も無く最小限に抑えられております。救急出動件数は、136件（11月末現在）となり前年

とほぼ同件数となっております。

日本国内においては元旦に発生した能登半島地震をはじめとする地震災害や、林野火災、台風・大雨による自然災害が数多く発生し、甚大な被害をもたらす、尊い命や貴重な財産が失われ、未だ避難生活を余儀なくされている被災者には改めてお見舞い申し上げます。

当町でも2年連続となる大雨による雨竜川の氾濫が7月24日に発生し、第2分団が共成地区の住民避難誘導を即座に對応し、人的災害を未然に防ぐことが出来たことは、日頃の訓練成果と幅広い啓蒙活動を展開した成果であり、ご家庭においても災害予防意識の浸透が図られているものと考えております。

本年は、10年ぶりとなる深川地区消防組合の消防団（沼田町・深川市・秩父別町・妹背牛町・北竜町）が一堂に会する北空知連合演習が沼田町で開催されることが決定していますので、より一層、防災体制の確立と即時対応に尽力し、地域の中核的存在として町民の「生命・身体・財産」を守るべく、知識の習得と技術向上に励んでまいります。

沼田町が災禍のない希望に満ちた一年となりますよう心からお祈りすると共に、町民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

深川警察署  
沼田警察庁舎所長

おしませいじ  
大島誠司



新年明けましておめでとーござい  
ます。

令和7年の輝かしい新春を迎えら  
れましたことを心よりお慶び申し上  
げます。

沼田町の皆様には、平素から警察  
行政の各般にわたり、深いご理解と  
温かいご支援・ご協力を賜っており  
ますことに厚く御礼を申し上げます。

沼田警察署が深川警察署に統合さ  
れ、沼田警察庁舎として運用開始さ  
れてから8年目を迎えているところ  
となりますが、統合後も刑法犯や交  
通事故の発生件数に大きな変化はな  
く推移しております。

さて、昨年の治安情勢を振り返り  
ますと、沼田町では前年に続き刑法

犯の認知件数が減少し、また交通事  
故死ゼロ継続日数も11月に4500  
日を達成し、第48回を迎えた「夜高  
あんどん祭り」の祭典警備も無事に  
完遂できました。

これらは町民の皆様方の交通安全  
や防犯に対する意識の高さと関係機  
関・団体の各種防犯・啓発活動の成  
果であると大変心強く思っており、  
改めて敬意を表するところです。

しかしながら、北海道全体に目を  
向けますと、高齢者被害の特殊詐欺  
やSNS型投資詐欺、悲惨な交通死  
亡事故が依然として後を絶たないな  
ど、警察を取り巻く諸情勢は樂觀を  
許さない状況です。

このような現状を踏まえ、深川警  
察署、そして沼田警察庁舎といたし  
ましては、「犯罪や事故のない安心  
して暮らせる北海道の実現」のため、  
深川警察署と連携のうえ職員一丸と  
なって、地域の皆様に寄り添いな  
がら治安維持に邁進する所存ござい  
ますので、本年も引き続きご支援・  
ご協力を賜りますようお願いいたし  
ます。

結びに、沼田町の皆様のご健勝と  
ご多幸を心から祈念申し上げます  
と、新年のご挨拶とさせていただきます  
ます。

沼田弾薬支処長兼  
沼田分屯地司令

たかはしまさき  
高橋正樹



新年明けましておめでとーござい  
ます。

沼田町の皆さまにおかれまして  
は、ご家族とともに輝かしい新年を  
迎えられたことを心からお慶び申し  
上げます。また、常日頃より陸上自  
衛隊沼田分屯地及び所属隊員に対し  
まして、深いご理解と温かいご協力  
を賜っておりますことに厚くお礼申  
上げます。

昨年を振り返りますと、毎年恒例  
の「夜高あんどん祭り」に当分屯地  
も祭りの一員として大いに盛り上げ  
たとともに、沼田町創立130周年  
という記念すべき節目の年であった  
ことから、様々な催し物が開催され  
るなど、沼田町の明るい未来を予感  
させるような大変印象深い年であり

ました。

しかしながら、国外情勢に目を向  
けると、米中の激しい対立及び力に  
よる一方的な現状変更の試み、ウク  
ライナ侵攻など、喫緊の脅威がさら  
に拡大して、国際社会の危機感がよ  
り高まる中、我が国も防衛力強化に  
着々と取り組んでいる途上でありま  
す。

もちろん当分屯地も防衛力強化の  
一翼を担っており、今後どのような  
役割の変化があるかは分かりませ  
んが、防衛省自衛隊が国民と共にあり、  
沼田分屯地が沼田町の皆様とともに  
あることには変わりはありません。今  
後も、町の発展に微力ながら貢献で  
きますよう皆様と協力してまいりま  
す。

結びに、本年が沼田町の皆さまに  
とって幸多き年となりますよう心か  
らご祈念申し上げますとともに、今  
年も変わらぬ当分屯地へのご協力を  
賜りますようお願い申し上げます。新  
年のご挨拶とさせていただきます。

